

## 2026年度 大学院入試問題の出題意図

スポーツ・芸術文化共創専攻 9月11日（木）実施

教科・科目等名	文化財保存科学
出題責任者氏名	
出題意図	<p>本専攻の目的である「持続可能な地域社会の発展に寄与する」に留意し出題する。</p> <p>第1問「文化財保存科学研究の社会的意義について述べなさい。」の出題意義 文化財保存科学研究は、文化財の科学的調査を通して文化理解を促し、新たな価値の創出に寄与する研究である。本研究分野が社会へ寄与する学際領域研究である事を十分に理解しているのかを問う。</p> <p>第2問「高知県の文化行政について、現在懸念されている課題を挙げ自身の考えを述べなさい。」の出題意義 地域社会における文化行政の動向を意識・認識しているのかを問う問題である。現在の高知県における文化行政の課題とは、主に下記の事項が挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 大規模自然災害の発生が危惧されているにも関わらず、文化財の保護・保全の十分な対策や検討がなされていない。</li><li>2. 全国の博物館施設の課題となる収蔵庫不足問題が、高知県内の博物館施設でも深刻な課題であり、さらに施設の老朽化も懸念されている。</li><li>3. 高知県内の一部の博物館施設では、博物館運営の指定管理者制度がこれまでの直指定から公募へと制度が見直されている。現時点(8/27)では決議されていないが、全国の博物館関係者から注目が集まっている。*博物館施設の高い収益性を求められ、学芸員雇用の不安定化が懸念されている。</li></ol> <p>以上の3つの課題の何れかを挙げ、その現状と自身の考えが確りと述べられているのかを問う。</p>